

2023
令和5年5月1日
第9号
(通算55号)

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

IT短大VIEW!



1 少人数制が本校の魅力!

入学して1ヶ月、三人の新入生に、本校を志望した理由や、授業や交流会等の感想についてお聞きしました。

Q1.本校を選んだ理由は?

- 金子さん：基本情報技術者試験の合格率が高いのが魅力です。
- 小野瀬さん：国家試験の合格率高く、企業推薦もありました。
- 絹張さん：少人数制で、先生と生徒の距離が近いのが魅力です。

Q2.入学しての感想と抱負は?

- 金子さん：大学の雰囲気にも慣れました。交流会で友達もできました。
- 小野瀬さん：授業は難しいけれど、理解できると楽しいです。
- 絹張さん：学んだ技術を積極的にアウトプットしていきたい。



左から、金子翔悟さん、小野瀬あゆさん、絹張哲平さん

2 大学公開,日程決定!

オープン キャンパスの日程が決まりました。7月15日、8月5日(女子のみ)、8月26日です。コースの紹介に加え、本校の大学校化の説明もあります。



3 「Bravo 茨城!」③!

笠間つつじ公園

🔪 笠間と言えば、やはり頭の中につつじ公園が浮かんでいるでしょう。

そこで、今回、笠間つつじ公園にやってきました。花が満開の時期が終わりに近づいてくるのですが、つつじの花はきれいです。つつじの花言葉は「努力」と「訓練」の意味があると聞いています。茨城県立IT短大に学ぶ私たちも「努力」と「訓練」で成果を上げたいと思います。



レポートするシハブさん

【インドネシア語】 Halo, saya Shihab! Kali ini saya pergi ke Kasama. Ketika anda berpikir tentang kasama, bunga Azalealah yang mungkin terpikirkan oleh Anda. Karena itu kali ini saya datang ke Kasama. Meskipun bunga Azalea yang telah bermekaran ini mendekati penghujung musimnya, bunga ini masih tetap cantik. Saya dengan arti dari bunga Azalea itu adalah "Kerja keras" dan juga "latihan". Menurut saya bunga ini bisa menjadi bukti kerja keras bagi kami yang belajar di Ibaraki IT Tandaigakkou.

【英語】 This time, I went to Kasama. When you think of Kasama, you probably have Azalea in your mind. That's why I came to Kasama Azalea Park this time. Although the season when the flowers are in full bloom is coming to an end, the azalea flowers are still beautiful. I have heard that the language of azalea flowers means "effort" and "training". I think it will be a proof of our efforts as we are studying at Ibaraki IT Junior College.

4 新聞を読む学生

本校では、「専門力」に加えて「社会人基礎力」の向上のために、新聞スクラブを実施しています。IT社会を支える人材育成の一環となるものです。

<記事> 読売新聞(2023年4月7日)

A I 使い論文 揺れる科学誌

◇要約

●小針向葵さん(日立商高卒)
精度の高い文章を生成する「チャットGPT」について論文を掲載する科学誌が使用を制限し始めた。論文は研究者が書くべきだと利用を禁じる科学誌と、限定的に使用を認めるものがあり意見が分かれている。

◇感想

●吉井明里さん(勝田高卒)
私は英科学誌ネイチャーや米科学誌セルと同じ考えで「チャットGPT」の限定的な利用に賛成だ。「チャットGPT」を上手く使い、論文の文章作成を効率的に行いたいと考える。またAIの発展に伴い増える問題の解決を願う。

●金子翔悟さん(水戸工高卒)
AIを使って論文を作れるような世の中になっているのは良いことだと思う。

しかし、それを使わなければ文章を作れないような人が増えるかもしれない。この記事にあるようにAIに頼り過ぎないようにしたいと思う。

●坂井恭吾さん(水戸桜ノ牧高卒)
「チャットGPT」の普及で、今まで人間が行ってきた作業がAIに取られてしまうのではないかと思った。また、自分で考えるという事をせずにAIに任せてばかりいると自分自身の能力が落ちてしまうのではないかと思った。

●塩野凌久さん(佐和高卒)
私は「チャットGPT」について国で制限を設けるべきだと感じた。なぜなら、AIが生成したものは著作権に関する問題などが発生する可能性があると考えからだ。したがって、AIに関する法整備をするべきと考える。

